

本時のねらい

社会的な見方・考え方を働かせ、文章に合う資料写真を入れたり、文章を付け足したりして、適切な表現をする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・レイアウトの変更が容易な Pages アプリケーションを利用し、自ら得た情報を活用する力（情報活用能力）を養い、学習課題の解決に向けて何度も試行錯誤することをねらった。
- ・タブレットで新聞を作り、それぞれの良さをみつけられることをねらった

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ 大型モニター
- ・ Google クラスルーム
- ・ タブレット PC
- ・ ページレイアウトアプリケーション Pages

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○今日のめあてを確認する 伝えたいことに合った写真をはって新聞を完成させよう	クラスルーム経由で Pages テンプレートを利用する。
展開 (30分)	○写真を取り込む ・文章に合う写真を選ぶ ・写真がない場合は、説明の文章を付け足す ○レイアウトの変更をする ・写真や文章の場所は自由、色を付けたり、囲いをしたりするアレンジはどんどん挑戦させる ○新聞会社の名前を決める ○編集者の名前、編集後記（感想）を書く。	・地図帳や教科書から写真を撮る、インターネットからも取り込む ・写真に何かを書きこみたいときはマークアップ機能を使う ・方法が分からない児童は周りの児童に聞く、わかった児童は教えに行く ・どこにどんな写真を貼り付けるのかを考えさせ、記事の内容がより伝わるレイアウトにする ・大型モニターを使って児童が見つけたやり方を見せ、全体に伝える
まとめ (10分)	○作った新聞を PDF ファイルに変換し、クラスルームにて提出する ○提出できた人から他の児童の新聞を見に行き、工夫を見つける	そのまま送信するとレイアウトが変わってしまうため、PDF ファイルにして送信させる（書き出し→PDF で変換できる）

1人1台端末を活用した活動の様子

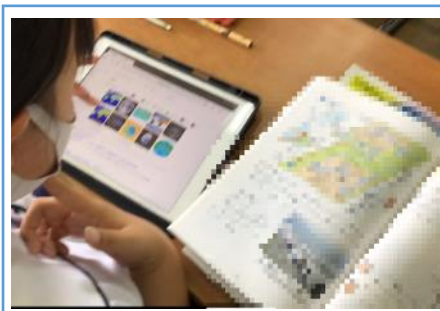


写真1：新聞に掲載する写真を教科書から撮るかインターネットからとるか考えている場面



写真2：操作方法について教えあいをしている場面

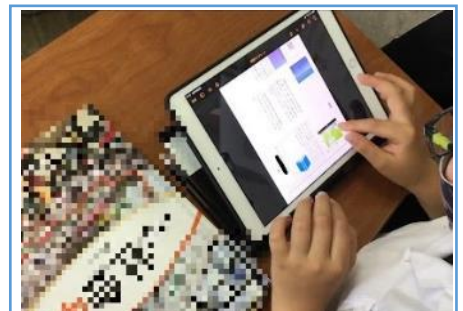


写真3：写真を動かし、何度もレイアウトを変更している場面

児童生徒の反応や変容

- ・一度手書きで新聞づくりを行っていたため、タブレット上では編集が簡単であることに気づき、自分から進んで変更を加えていた。
- ・やり方を教員が伝えるのではなく、児童が見つけた、周りに伝える、前で全体に伝えるというようにして、機能を次々に見つけていく楽しさもあった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・今回の授業では、新聞の文章に合う写真を選び、貼り付けることを主な活動にしている。タブレットでの学習は、試行錯誤することのハードルが低く感じられる。様々なレイアウトを試し、より良いものへと変わっていく過程がわかりやすい。
- ・自分たちで見つけたこと（字を大きくする、色を変えるなど）は児童同士の学びあいをしたり、大型モニターを使って児童が説明したりするようにして全体での学びにつなげた。
- ・より具体的かつ簡単なワードで児童が検索している方法を紹介し、全体の学びになった。